



# TECHNOFLEX Corporate Profile

株式会社 テクノフレックス 会社案内

株式会社 テクノフレックス

〒111-0051  
東京都台東区蔵前一丁目5-1  
Telephone 03-5822-3211  
Facsimile 03-5822-3219(代表)

**TECHNOFLEX CORPORATION**

1-5-1 Kuramae, Taito-ku, Tokyo  
111-0051 Japan  
Telephone +81-3-5822-3211  
Facsimile +81-3-5822-3219

テクノフレックス 会社案内

[www.technoflex.co.jp](http://www.technoflex.co.jp)

TF-1806-2

# すべては変化から始まる。

唯一生き残るのは、変化できる者である——。

ダーウィンの進化論を待つまでもなく、

株式会社テクノフレックスが生きる金属加工の世界も同じです。

常に進歩を続ける市場や技術の中で、当社は変化してきたのでしょうか。

その変化は、お客様のニーズを満たすレベルのものだったのでしょうか。

たとえば、当社の主力商品である金属製フレキシブルホースや伸縮管継手の加工技術は30年前とほとんど変わっていません。

換言すると、これは市場やニーズの変化に対応できていないのです。

いま当社がなすべきことは、お客様のニーズや変化を的確にとらえ、自らを積極的に変化させていくことに他なりません。

“安価かつ高品質”的品を安定供給するために、

お客様の求める「使い勝手の良さ」「軽量化」「品質の強化」を追求していきます。

テクノフレックスの未来を描く、自己変革の具体例を紹介しましょう。

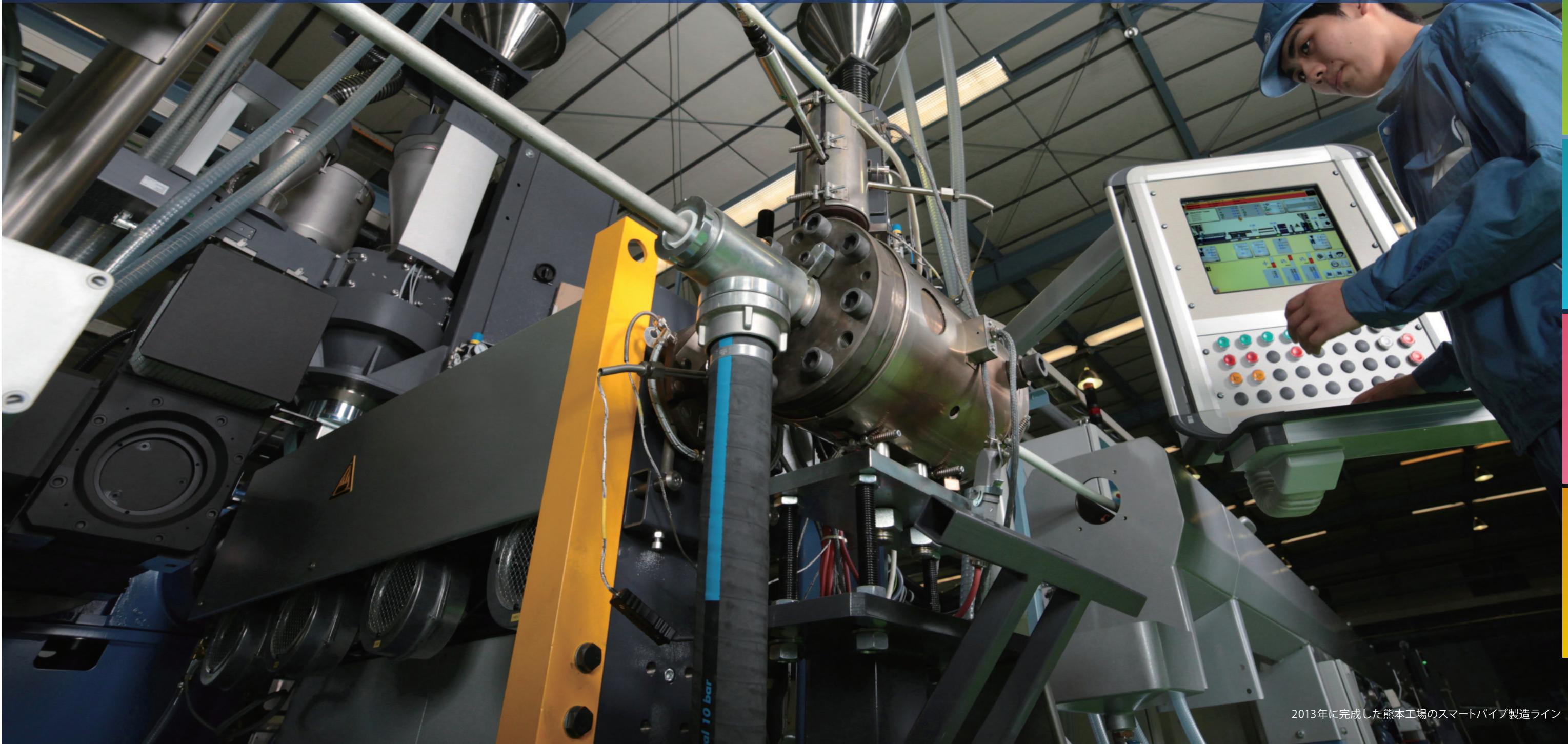
Effect of synergy

Advanced technology

Material for new product

Semantics of globalism

Message from TECHNOFLEX



2013年に完成した熊本工場のスマートパイプ製造ライン

# Effect of synergy

グループ力の効果



自らを変える。

### 自己変革に大きな効果をもたらすグループ会社

「使い勝手の良さ」「軽量化」「品質の強化」の3つを追求するために、株式会社テクノフレックスは具体的にどのような取り組みをしているのでしょうか。第一に、直接のお客様(お取引先)だけでなく、エンドユーザーの声やニーズを汲み上げる施策。第二に、塑性加工を中心とした技術力向上への施策です。塑性加工とは、材料に大きな力を加えて変形させ、目的の形状にすることにより、お客様の求める最適な強度や柔軟性、耐久性を持つ形状を効率よく実現する技術で、当社の競争力の基盤となる加工技術です。いずれもグループ会社を活用することで、当社の自己変革と進化に大きな効果をもたらしています。

### 現場の生の声を活かしてさらなる技術力向上へ

エンドユーザーの声やニーズ、使い勝手などを当社に届けてくれるのは、主にスプリンクラーなどの消火設備の施工・管理を行う株式会社防災企画。消火設備配管工事に携わる現場の声が、そのまま製品に反映されています。自動車業界のパイプ塑性加工で実績のある株式会社チューブフォーミングは、低コストで安全かつ安定した継手の生産ノウハウを当社に提供しています。また、水道用の切断装置で実績のある株式会社中野製作所からは、水道・下水道本管の切断加工技術・ノウハウが当社の水道用フレキシブルホースに活かされています。さらに、介護製品の製造・販売・サービスを行う株式会社スペースケアからは、フレキシブルホースの軽量化や組み立て方法の向上など、製品開発の新しいヒントを得ています。



いくつもの塑性加工技術を有するチューブフォーミング



パイプ切断機(キールカッター)の製造・販売で高い評価を受けている中野製作所



スプリンクラー設備・工事では、当社グループの協業が最大の強み



100店舗を目指し拠点拡大を進めるスペースケア



*Advanced technology*

技術の追求



# そせい 塑性加工を変える。

## これまでなかつた新しいチューブ製品の開発へ

株式会社テクノフレックスの製品を支える技術、その中のひとつが塑性加工技術です。

当社のチューブ本体は、塑性加工がベースとなっているからです。

これまでの発想になかった、まったく新しいチューブ製品の開発・製造を実現するためには、より進んだ塑性加工技術とその品質管理手法を導入することが求められます。

塑性加工技術の進歩が早く、安全性や耐久性、軽量化、安定供給、

コスト低減などが常に求められているのが自動車部品業界です。

そこで長年の実績と高い評価を持つ株式会社チューーブフォーミングは、当社の技術力向上に大きく貢献しています。

## ベローズ・フレキ専用の熱処理炉を自社設計

たとえば、当社の主力商品のひとつである管継手の製造にチューーブフォーミングのパイプ塑性加工技術を応用することを進めています。

従来より軽量で高品質の管継手を作ることが可能になるからです。

また、自動車用継手の高度な生産ノウハウを共有することも計画中です。

配管継手の加工方法と品質管理をフレキシブルホースに応用するために、生産のロボット化も進めます。

また、ベローズ型伸縮管継手とフレキシブルホースの生産ラインには、自社で設計・製作した専用の大型真空熱処理炉を配備しています。

当社は研究開発から設計、製造、流通まで、製造工程の全部門をグループ内にそろえ、製販一貫した動きの中で社会やお客様のニーズに対応しています。



プロペラシャフトの生産現場  
FRタイプの自動車に使用されているプロペラシャフト(エンジンから後輪に回転を伝えるパイプ部品)を多種類生産しています(約 60,000 本 / 月)



整然とした生産現場  
安定した生産と高度な品質は整然とした現場から生まれます

# Material for new product

新商品への道筋



## 素材を変える。

### ステンレスから一歩進んだ樹脂と鋼材の複合管へ

フレキシブルホースや伸縮管継手など

当社の製品は主にステンレスを素材として扱ってきました。

ステンレスは鉄と比べて錆びにくく軽量という優位性はありますが、もっと錆びにくい素材、もっと軽量化できる素材はないだろうか、と研究開発に取り組んできました。

お客様は配管素材の変化を求めていましたにもかかわらず、

フレキシブルホース自体が変わらなかつた事実があるのです。

そこでいま、株式会社テクノフレックスが積極的に取り組んでいるのが、樹脂と鋼材を複合化した「アルミ複合ポリエチレン管」の導入です。

### 海外メーカーとの技術提携や安全性検証機関の設置

いわば樹脂と鋼材の“いいとこ取り”をしたアルミ複合ポリエチレン管は従来の钢管や架橋ポリエチレン管に比べ、

軽量で曲げ形状の保持が可能など、多くの特長を持っています。

特筆すべきは、製造全工程のCO<sub>2</sub>排出量が钢管と比較し、大幅に削減できること。

今後は集合住宅や戸建て住宅における給水・給湯配管や

スプリンクラー配管としての需要拡大が見込まれています。

当社はアルミ複合ポリエチレン管の自社生産をすでに開始し、オランダのワービン社と技術提携を結びました。

また、フレキシブルホースの安全性を検証するための試験・研究機関も独自に開設。

主力商品の素材を転換することで、環境を通じた社会貢献にも寄与していきます。



アルミ複合ポリエチレン管と継手  
現在、主流の架橋ポリエチレン管に比べて施工時間の短縮が可能になり、施工コストの削減にも貢献します

管の断面構造  
テクノフレックスのアルミ複合ポリエチレン管は5層構造です

# *Semantics of globalism*

海外展開の意味



## 品質管理を変える。

### 価格競争力だけを目的にした海外進出は終わった

株式会社テクノフレックスは積極的な海外進出を展開しています。その目的は、アジアを中心とした低賃金による人海戦術生産だけではありません。確かにこれまで、日本の製造業は量産品の前工程を海外工場で行い、国内工場で組み立てることによって、価格競争力を持つことができました。しかし、この生産体制が通用した時代は終わったのです。これからは、国内と同等またはそれ以上の設備を海外へ積極的に導入し、生産コストの抑制と品質の向上という2つの課題を同時にクリアすることが求められています。

### どの拠点で生産された製品でも均一に高品質へ

当社でも海外進出の意味を大きく変えようとしています。価格競争力の強化だけではなく、品質管理の向上を目的とした海外進出です。具体的には、世界のどの拠点で生産された製品でも、国内生産と同等に均一で高品質であること。たとえば、中国（上海・天津）とベトナム（ホーチミン）にある工場は今後も当社の技術力を担う戦略拠点になることは間違ひありません。それらに対する設備・技術投資は積極的に続けていく計画です。当社が独自に設計・製造した大型真空熱処理炉をベトナムと新潟に設置。テクノフレックスの海外戦略は、価格競争力を持つ供給体制の確立はもちろん、国内生産拠点並みの生産品質を維持するという2つの戦略を実現する基盤となっています。



TFベトナムでの品質確認会議  
当社に出荷されるすべての製品には、厳しい品質管理が毎日おこなわれています



波状管の生産現場  
上水道配管用に使用される波状管は、TFベトナムで製造され、当社に出荷されます

# *Message from TECHNOFLEX*

未来志向の視点



## 変化から進化へ。

### 未来への意志表明と具体策

これまで述べてきたことはすべて、  
株式会社テクノフレックスの未来への意志表明とその具体策です。  
「使い勝手の良さ」は、お客様の声を直接お聞きできる信頼関係が不可欠でしょう。  
「製品の軽量化」は素材と技術、両面での革新が求められます。  
「品質強化」は製造体制のみならず、会社全体としての経営課題です。  
それらの高次元での実現には、これまでの考え方や方法にとらわれず、  
まったく新しい発想とチャレンジが必要なのです。

### 原点と本質を理解し、新たな価値を創造

今後のさらなる成長に向かって、  
変えるべき点はどこにあるのか、継続していくべき点は何なのか。  
当社はいま、すべての業務をゼロベースで見直し、  
企業としての新しい存在価値を再構築している最中です。  
言い換えると、新生テクノフレックスへの変化から進化へのプロセスにあります。  
原点と本質を理解し、新たな価値を創造しながら未来を切り拓く。  
そんなテクノフレックスに、ぜひご期待ください。



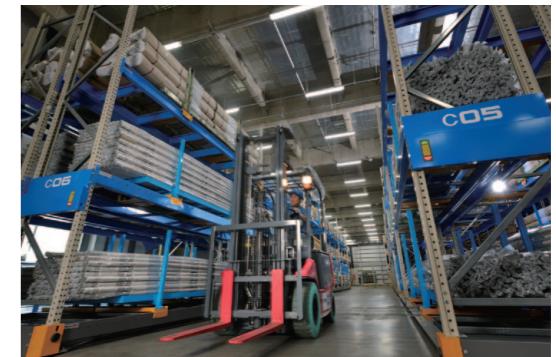
主力商品のひとつ、金属製フレキシブルホース



金属製フレキシブルホースの組み立て作業



海外工場から供給される部材



効率性を追求している物流センター